

# 自主防災ニュース

北野台自治会 自主防災会

## 『実態に即した 総合防災訓練へ』

自主防災会本部隊長 篠原 由紀子

大震災が発生したその時、まず、何をしますか。ご自身を守る為に心掛けていることはなんでしょうか。

八王子市では昭和57年に、「自分たちのまちは 自分たちで守る」を合言葉に自主防災組織の第一号が結成されました。北野台自治会自主防災会は平成7年にスタート。同年1月17日に発生した、阪神淡路大震災がきっかけと聞いています。そして、今年で22年目を迎えます。

現在、行っている訓練は体験型訓練。21年間、積み重ねてきた訓練と東日本大震災、熊本地震から見えてきた事は、実態に即した訓練の重要性です。また、減災対策として、多角的な観点からの事前調査も必要です。自分の身を守る準備(自助)。地域にいる住民の昼夜の、年齢層、男女比等々、様々な調査と準備が必要とされています。何を第一歩とするか、今年は課題を整理し進めてまいります。

### 《震災時情報 抜粋 ※詳細については、後日、お知らせいたします》

1. 地震発生時
  - ①地震だ身を守れ！(30秒～60秒)
  - ②揺れなくなったら！火の始末！
  - ③避難→自宅内安全箇所あるいは避難所(高嶺小学校)  
※自宅が住めない状態の場合は避難所へ
2. 地震発生時の状況 (多摩直下型地震 冬季 05:00を想定)
  - ①都市ガス 100% ストップ
  - ②水道 3割断水(鑑水給水所が対応・容器は必要)
  - ③電気 電線折損等により停電 復旧は早い
  - ④避難所生活 83,000人を想定
  - ⑤八王子市は全ての家屋が倒壊するとは想定していない
3. 夜間震災発生時
  - ①指定された市の職員が高嶺小へ行き安全点検を行う(5名)
  - ②安全確保の後、体育館、施設に避難する。一人一畳程度。
  - ③避難所開設 落ち着いたら地域で運営を行う。
4. 物流
  - ①物流の回復は3日程度かかる  
(八王子市から熊本への支援物資は発送から3日後に届いた)

—最低3日間の備蓄品を！自宅内での安全な場所探しを！  
自助の次は共助！ご近所同士の声かけ、助け合いが大切です—

# 平成27年度「立川防災館研修」に参加して

神林 和美  
糸屋 寛子

平成27年8月29日、八王子市自主防災団体連絡協議会主催の「立川防災館研修」に参加しました。立川防災館は「楽しみながら防災体験ができる施設」ということもあり、当日は小学生の児童や家族連れが多くみられました。

研修では、インストラクターの説明を聞きながら、5つの体験コーナーをツアー形式で回りました。

今回は、その内容を簡単にご紹介します。

## 防災ミニシアター

大型スクリーンに東日本大震災が発生した街の様子が映し出されました。

もし大地震が起きたら、私達一人ひとりがどのように行動するべきか、地震に対して日頃どのような備えをしておくべきか考えさせられる内容でした。

## 地震体験

過去に日本で発生した大地震の揺れを体験しました。身の安全の取り方だけでなく、地震発生後の火災を防ぐための対処方法も学びました。

また、木造家屋の倒壊等で下敷きになった人を助けるには、「のこぎり」「バール」「ジャッキ」といった道具が役に立つそうです。いざという時のために、備えておくと安心かもしれません。

## 消火体験

消火器的使用方法について学び、スクリーンに映し出された火災映像を訓練用消火器で消火しました。



## 応急救護体験

AEDを用いた心肺蘇生の方法を、モデル人形を使って練習しました。

救急車が到着するまでの数分間に、応急手当を受けたかどうかで人の命は大きく左右されるそうです。

AEDには音声案内が付いており、初心者でも操作の手順がよく分かりました。

## 煙体験

煙の恐ろしさや特性について学び、煙の充満した通路を誘導灯の明かりを頼りに避難しました。

煙を吸わないためには、ハンカチや衣服の袖で鼻や口をふさぐこと、低い姿勢を保つことが重要だそうです。



災害時には、直ちに一人ひとりが落ち着いて適切な行動をとることが求められます。しかし普段経験していないことは、いざという時には判断が難しく、なかなか行動に移せないと言います。

立川防災館では、自分でコーナー(1ヶ所だけでも可)を選択して、体験することも出来ます。また、夏休みにはイベントも開催されるそうです。防災について考えるきっかけの一つとして、ご家族やお友達を誘って足を運んでみてはいかがでしょうか。

## “自主防災拡大幹部会”が開催されました。

6月25日（土）「北野台自治会防災組織運営細則第3条」に基づき、北野台自主防災拡大幹部会が次の通り開催されました。

\*出席者：隊長、副隊長（本部・地区）、各班リーダー、本部事務局

1. 篠原隊長 挨拶
2. 28年度組織について  
本部副隊長の交代報告
3. 28年度日程及び活動予定を提案し、了承されました。
4. 各班防災計画及び活動計画について  
昨年の防災訓練実施要項を参考に、各班より実施計画の見直し、検討を今後進めて行くことを確認。
5. 上記の見直し、検討を含め今後プロジェクトチームを結成し進めて行くこととなりました。同チームは、各班リーダーと隊長、副隊長（本部事務局）とで構成。

## “自主防災協議会”が開催されました。

7月10日（日）「北野台自治会防災組織規約第7条」に基づき、協議会が開催されました。

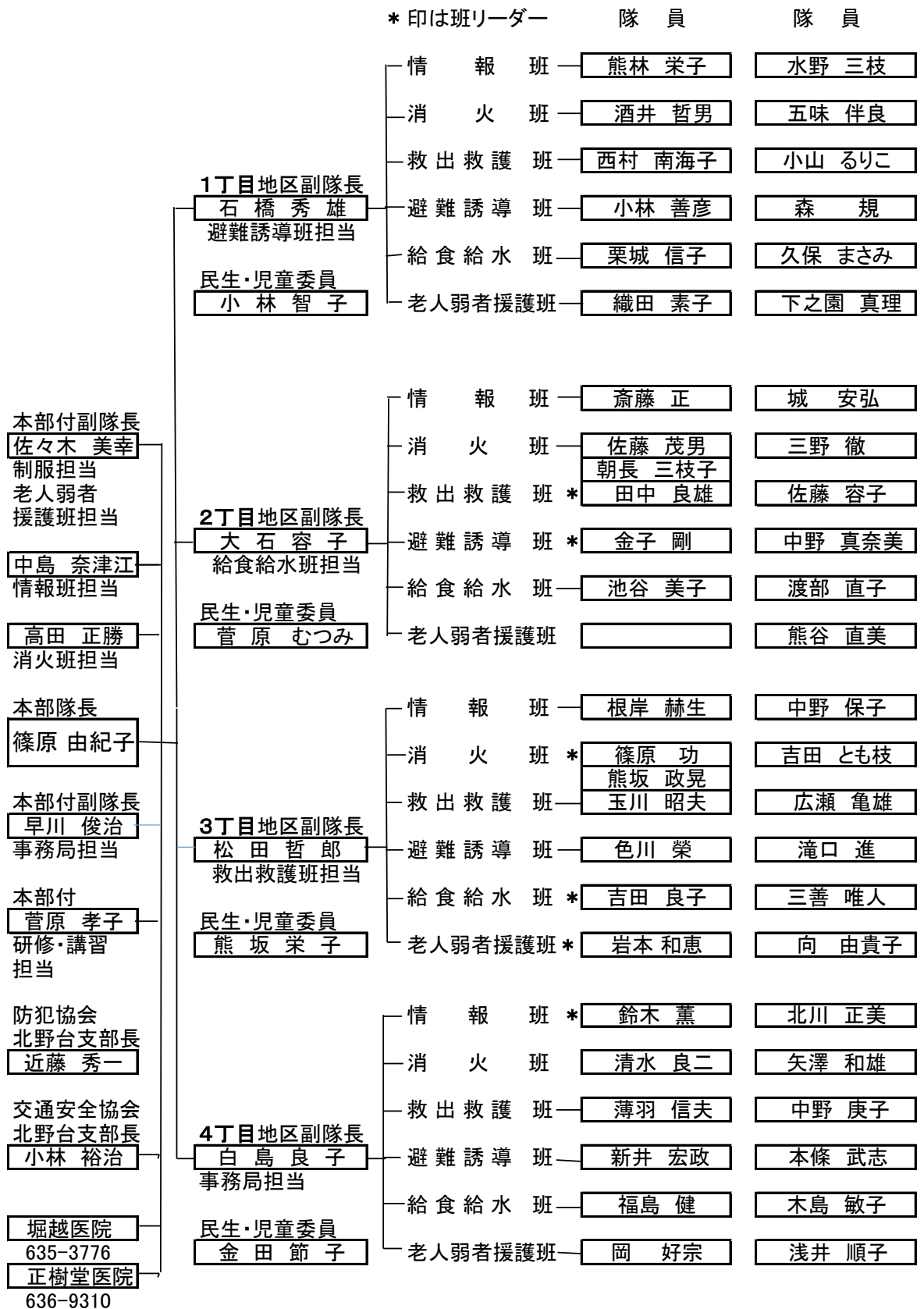
\*出席者：自治会役員、自治会区長、民生児童委員、  
交通安全協会北野台支部、防犯協会北野台支部長、  
北野台子ども会会長、北野台クラブ会長、北野台幸和クラブ会長、  
自主防災会隊長、本部副隊長、地区副隊長

北野台自治会自主防災会篠原隊長の挨拶、出席者の自己紹介と続き下記の議題につき審議に移りました。

1. 平成27年度事業報告と決算、同28年度事業計画と予算  
「北野台自治会第37回定期総会資料」に基づき、報告・了承されました。
2. 役員の委嘱  
新組織図により、下記副隊長・隊員が了承されました。  
本部付副隊長：佐々木美幸、中島奈津江、早川俊治  
情報班：根岸赫生(3丁目)  
避難誘導班：森規(1丁目)  
給食給水班：福島健(4丁目)
3. 総合防災訓練を、昨年に引き続き高嶺小校庭（雨天時：高嶺小体育館）にて行うこととなりました。
4. 自主防災会全体会を9月4日（日）10時より開催することになりました。
5. AEDを自治会館に設置（7月末までに）、8月1日（月）13時30分より消防署による講習会を開催予定です。
6. 出席者より、“災害時要援護者”の情報を含め、市と連携を図るよう要請があり、早急に市と調整することとしました。

# 北野台自治会自主防災会組織図

平成28年(2016年)07月07日現在



※ 上記の他に、公的団体(北野台クラブ、北野台幸和クラブ、西武北野台子ども会)及び自治会区長を含む